

軽油価格高騰に伴うアンケート結果について

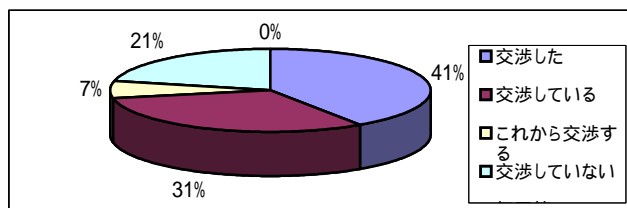
滋賀県トラック協会は、今日の軽油価格高騰に伴い、一昨年に続き会員に対するアンケートを実施。この結果を基に更なる取組の推進を図る。

・調査実施	平成19年8月13日～同年8月末日		
・調査対象数	583件		
・回答数	121件	回答率	20.75%

1. 荷主等に対し運賃値上交渉をしましたか。

交渉しているも含め、72%の会員が交渉を行っています。一方、21%の会員が、景気低迷や、同業者の足並みが揃わないなどの理由で交渉まで至っていない。

(1) 交渉した	49件
(2) 交渉している	38件
(3) これから交渉する	8件
(4) 交渉していない	26件
(5) 無回答	0件
	121



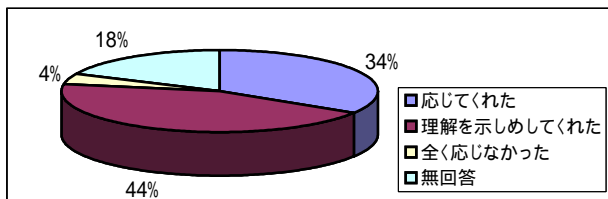
2. 運賃交渉で協会のチラシ等を活用されたか。

(1) 活用した	42件	
(2) 活用していない	74件	(・知らなかった8 ・自社(本社)独自のもの6 ・荷主等に配慮3)
(3) 無回答	5件	

3. 運賃の交渉状況(交渉中含む)は ……

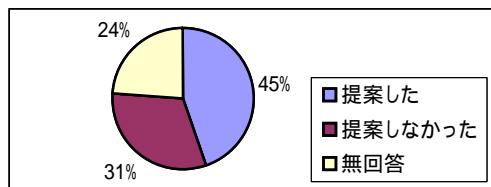
運賃交渉に応じてもらった事業者は、3割強となっている。

(1) 応じてくれた	41件
(2) 理解を示しめてくれた	53件
(3) 全く応じなかった	5件
(4) 無回答	22件
	121



3-2. 運賃交渉にサーチャージ制を提案されたか。

(1) 提案した	54件
(2) 提案しなかった	38件
(3) 無回答	29件
	121



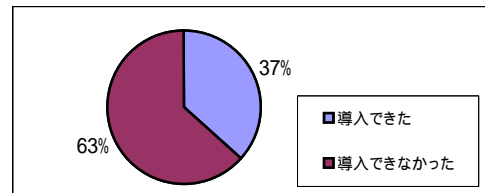
(・複雑で対応できない3 ・浸透していない2)

4. 運賃交渉の結果は

(1) ほぼ転嫁できている	3件	1～3% 14	10～20% 6
(2) 一部転嫁出来ている	44件	3～5% 9	20%以上 4
		5～10% 4	

5. サーチャージ制を導入できたか

- (1) 導入できた 18 件
- (2) 導入できなかった 31 件



6. 転嫁できた業種・輸送品目

(業種)

・住宅業6 ・製造業23 ・窯業5 ・加工業 ・建設業

(品目)

・建築資材6 ・コンクリート製品、 ・プラスチック4 ・硝子製品3 ・自動車部品5 ・原紙2 ・化学工業製品2
 ・産業機械2 ・バルブ ・液晶2 ・化学原料2 ・溶接物品 ・ポンプ ・繊維 ・アスファルト合材 ・電機機器

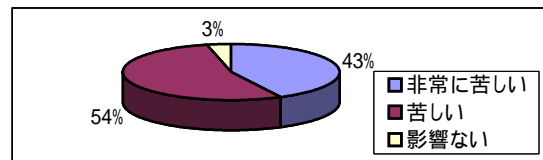
7. 交渉の秘訣

- ・窮状の理解を得る 5
- ・支払(物流)担当者との人間関係 5
- ・原価計算(人件費等)を提示 3
- ・繰り返し交渉 5
- ・輸送サービスの向上 1
- ・業者間の団結 3
- ・輸送サービスの向上 3
- ・トップ交渉 3
- ・サーチャージによる交渉 2
- ・信頼関係 1

8. 経営状況は

- (1) 非常に苦しい 49 件
- (2) 苦しい 62 件
- (3) 影響ない 4 件
- (4) 無回答 6 件

121

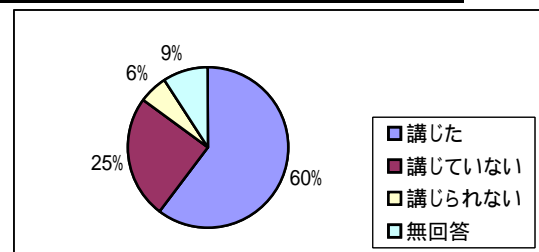


会員企業の経営状況は、97%が苦しい。また、これに対し6割がその対策に努力

9. その他、講じた自営対策は

- (1) 講じた 73 件
- (2) 講じていない 30 件
- (3) 講じられない 7 件
- (4) 無回答 11 件

121



(1)の理由

- ・エコドラ、アイドルングストップ24
- ・コスト削減(人件費等)19
- ・配送の効率化 8
- ・デジタコ導入 7
- ・安い運賃撤退(直荷主含む) 2
- ・新規開拓(業務委託)2
- ・輸送サービスの向上 5
- ・輸送の見直し(地場輸送ヘシフト等) 5
- ・低燃費車への代替 3
- ・高速の夜間割引等の活用 3
- ・乗務員の意識改革
- ・協力金の廃止
- ・協力会社のインタンク使用 ・外注化推進

10. その他、意見等

- ・積極的な広報活動(窮状の訴え) 8
- ・燃料の共同購入 5
- ・団体として指導性を発揮 5
- ・会員各位の取組が重要 3
- ・高速料の割引 2
- ・会員の協調性が必要 3
- ・軽油税等の見直し(廃止、凍結等) 9
- ・一般財源化反対 2
- ・関係団体(石油、自動車販売)と連携 2
- ・燃料高に伴う、支援措置 2
- ・運賃ダンピングの実態把握をする 1
- ・要望活動は焦点(政党等)を絞ってやる